

# まどか、初の日本タイトル獲得

木村佳司

全日本スプリントオリエンテーリング大会 2010年12月12日 茨城県ひたちなか市

渡辺まどかが初めて全日本のタイトルを手中にした。アジアチャンプ加藤も日本タイトルを奪還した。

2010年12月12日 茨城県ひたちなか市  
全日本スプリントオリエンテーリング大会



優勝インタビューに答える渡辺まどか

## 全日本選手権男子 A 決勝

- 1 加藤弘之 0:15:15 ES 関東 C
- 2 松澤俊行 0:15:42 静岡 OLC
- 3 小泉成行 0:16:08 ときわ走林会
- 4 立川悠平 0:17:08 新潟大学
- 5 山上大智 0:17:11 東京大学
- 6 堀田 遼 0:17:28 東京大学

## 学生の部(大学生) 男子 A 決勝

- 1 立川悠平 0:17:08 新潟大学
- 2 山上大智 0:17:11 東京大学
- 3 堀田 遼 0:17:28 東京大学
- 4 三谷洋介 0:18:06 東京大学
- 5 新城大樹 0:18:07 東工大
- 6 小林 遼 0:18:08 東京大学

## 全日本選手権 女子 A 決勝

- 1 渡辺円香 0:18:02 ES 関東 C
- 2 皆川美紀子 0:18:13 みちの会
- 3 水野日香里 0:18:30 椋山女学園大
- 4 井手恵理子 0:18:37 朱雀 OK
- 5 高野美春 0:19:47 十文字学園大
- 6 紺野佳代子 0:20:01 横浜 OLC

## 学生の部(大学生) 女子 A 決勝

- 1 水野日香里 0:18:30 椋山女学園大
- 2 高野美春 0:19:47 十文字学園大
- 3 水野綾子 0:21:28 東北大学
- 4 小泉佳織 0:22:28 津田塾大学
- 5 小玉千晴 0:22:50 椋山女学園大
- 6 太田夏美 0:23:59 千葉大学



最終前コントロールを脱出する加藤弘之

## まどか、淡々とした走り

トレインで観戦する筆者・木村の前を渡辺まどかがそれほど速くないペースで通り抜けて行った。そのまどかが優勝を決めた。だがラップ解析を見ると優勝のまどかと2位の皆川の巡航速度が他を圧倒していた。ベテランの走りというのはこういうことだろうか。

金メダルを首にかけてくれたのは、去年の全日本スプリントチャンピオンの朴峠周子だった。今期はケガで出場を見送り、地元茨城で開催される大会の運営者となっていた。

## 加藤パーフェクトゲーム

上位3名はアジアスプリントチャンプの加藤、前年度スプリントチャンプの松澤、現ロングの日本チャンプの小泉となった。3者の実力はほぼ伯仲。その中でミスを最小限に抑えた加藤が優

勝を勝ち取った。このトリッキーなトレインでほぼノーミスの走り。賞賛に値する素晴らしい結果だ。

## 学生パワーを見た

男女のA決勝では学生も上位に食い込んでいる。今回のコースとトレインは技術力を必要とされるものだったが、これに見事に対応した学生が多かったことを物語る。

こうしてどんどん若い力が伸びてどんどん日本の競技レベルを高めていってほしいものだ。

今後ますます高まる日本の競技レベルに期待しよう。その先にはアジアや世界での活躍が見えてくるはずだ。



学生の部(大学生)で1位の水野日香里(椋山女学園大学)総合でも3位に入る好タイムを叩き出した。

(木村佳司)